



マーク・ダニエル・マローニー R I 会長

郡上長良川ロータリークラブ

会長テーマ **ひだまりロータリー**

会長：和田良一 副会長：三島 昭 幹事：島崎秀樹

第1960回 令和1年 7月24日(水)

本日の行事 各委員会活動方針発表 ①

2019-20年度

幹事報告

* 地区事務所より

奨学生受入中間報告会・カウンセラー

セミナーの案内

和田良一会長

島崎秀樹幹事

9月1日(土 名鉄ニューグランドホテル

* ハイライトよねやま

* 郡上市役所より

青少年育成市民会議総会の報告書

第1959回例会

会長挨拶

2019-20年度 和田良一会長

皆様こんにちは。郡上八幡ロータリークラブとの合同例会、準備の方滞りなくしていただきありがとうございます。我がクラブのS A A委員長が楽すぎてちょっと物足りない喜んでおりました。

昼食後、一番眠たくなる時間帯ですが、今日は辻ガバナー様のお話、素晴らしい卓話ですので、一言一句聞き逃しのないよう一生懸命頑張って最後まで話を聞いて、これからのクラブ運営に生かしていき、又ロータリアンとしても成長していくような心の糧にしたいです。くどいようですが最後まで寝ないで話を聞くことをお願いしまして、あいさつに代えさせていただきます。



会長挨拶

郡上八幡ロータリークラブ 村土時男会長

皆さんこんにちは。本日は足元の悪い中、辻ガバナー様を始め深瀬ガバナー補佐様、井熊地区代表幹事様、近澤地区幹事様、西村地区大会実行委員長様、ありがとうございます。先ほどの懇談会ご指導ありがとうございました。また長良川ロータリークラブの皆様方におかれましては、先の50周年記念式典にはお祝いや郡上踊りで華を添えて頂き、終えることが出来ました。これもひとえに皆様のお蔭と感謝いたします。今回ご紹介をしたい方が見えます。皆さんもご存じのように、この10月で100歳になる大畑さんです。1回の欠席もなく、この30年間、私達を指導し、また紳士でもあり、何事も心を配っていただき指導していただいております。私よりも元気で、八幡ロータリーを引っ張っていただいております。私のクラブには100歳の会員がいる、素晴らしいと思います。この地区内にも見えないと思います。他にも我がクラブには色々な方が見えます。折半 色々問題が取り上げられていますが、車の免許がないから来れないという案があります。私達も何とか来ていただけるように努力したいと、先ほど辻ガバナーさんとも話をさせていただきました。

今日は白鳥、八幡の皆様、雨の中お越し下さりありがとうございます。

こんにちは。大畑さん、劔田ガバナーの地区大会の時、表彰を受けられましたよね。是非私どもの地区大会にもお越し下さいますようお願いいたします。お元気で嬉しいです。

又ビックリしましたのは和田会長の挨拶を聞いて、全然昨日の夜と変わっていない。実は今日が本番であることを知りながら、昨日の夜は声を出しすぎまして、さっき龍角散を飲んだのですが、まだ効き目がなく、聴きづらいかもしれません。

郡上八幡ロータリークラブと郡上長良川ロータリークラブ、郡上市は合併をされてものすごく大きな市になりました。調べましたら 1030.75 m²あり、岐阜県では高山市に次ぐ面積です。高山市は 2177.6 m²あり、めちゃくちゃ大きいです。去年、郡上長良川ロータリークラブの 40 周年記念式典に出席し、色々調べました。白山信仰であったり、大日ヶ岳が長良川の源流だったと云う事は、岐阜の鵜飼は郡上がなければ成り立っていないと云う事になります。もっと威張っていいと思います。郡上踊りや白鳥踊りがあり、もう始まっておりませんか？私も今年は挑戦してみようと思います。明宝ハムと明方ハム、食べても違いが分かりませんが美味しいことは確かです。

今日が公式訪問が初めてです。2019 - 20 年度ですが、国際ロータリーの会長マローニー氏のテーマが「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマです。2630 地区のテーマは「総天然色」です。これが訳が分かったような分からないようなガバナーらしいと言われます。会長のマローニーさんは、今年のサンディエゴで、2017 - 18 年度の会員の減少が非常に激しかったと云う事で、ものすごい危機感を抱かれていまして、増強や退会防止にける思いは非常に大きなものがあるという事を伝えようと話されました。具体的な方法につきまして大きく踏み込んで話をされました。最初のマローニー会長の強調事項、これはロータリー自信を成長させましょう、彼はグローロータリーという言葉を使って、それを表現しました。穴の開いたバケツにいくら水を入れても、何も溜まらない。そんな状況じゃないか？という問いかけでした。そしてロータリーを成長させる為に、いろんなことをやりましょう。バケツをきちんと修復して、あるいは新しいバケツにしてみて、そういう必要があるんじゃないという風に彼は熱く語りました。会員の減少というものは、一人一人が大きな問題であります。職業分類がありましたら、それを強化して、その分類が当てはまる会員を増やす。あるいは新しいクラブを作らなくてはならない。そして我々は若い人たちを大切にしないといけない、と彼は言います。そしてもう一つロータリーのリーダーたち、会長、幹事、いろんな委員長、地区の我々たちもリーダーシップをする時に、その道が少しでも通りやすい道でなくてはいけない、と彼は言いました。どういう事か？ガバナーなんてやったら仕事なんてできませんよ。会長なんてやったら仕事できませんよ。そんなロータリーはおかしい、と彼は言います。両立できるようなロータリーにしたいというのが、彼の非情な思いです。仕事しながらロータリーが出来なければロータリーではない。家族、仕事、ロータリーの 3 つのバランスがうまくとれるようにいけない、と彼は言います。日本ロータリーを成長させましょうというのは、単に会員を増やそうと言っているのでは決してありません。きちんと理念に基づいて続いて行くように、持続性と最近よく言われますが、成長していきましようという事を言っています。公共イメージの向上、ロータリーの認知度の向上、これもその一つです。先ほども触れましたが、子供や若い人たちの結びつき繋がり、これも非常に大切なことです。今年の国際協議会はサンディエゴでありました。国際協議会初めて世界中から 60 人のローターアクトが正式に招待されました。そのうち日本から 3 人来ました。彼らと分科会で色んな討議をする機会を得ました。僕は聞きました。「どうしてローターアクトに入ったのですか？」何と答えたと思います？感激しました「だって私奉仕がしたかったんです」と答えました。20 代の女性です。自分が 20 代の頃、奉仕がしたいと考えたことはありません。しかしその彼らと繋がりを持ち、話をし、どこかで交わることが出来るかも知れない。青少年プログラムは沢山あります。この絶対ロータリーをさせて通れません。何故か、平均年齢が 70 歳のクラブが何の増強もなく、誰もご逝去されず 10 年経ったら平均年齢は 80 歳になります。だから若い方をどんどん増強して行かないとさっき言ったように続いていけなくなってしまいます。ローターアクトやインターアクトや青少年交換や色々な事業があります。この中で色んなハラスメントの問題、それから東日本の大震災の災害時をどうするかという問題、実は色々な問題が取り囲んでいます。しかし私たちはそういう問題があると云う事があるんだと云う事をまとめて、その一つ一つが必ず対処



の方法があるので、私たちは勉強して学んで認識を高めて、起こってきたことに対してきちっと受け止めていく必要があると私は思います。

少し難しい話をします。ロータリーの定義というのがあります。難しいです。中核的価値観と言います。奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップの5つです。これが2018年の国際協議会があり、バリー・ラシンさんが会長の時、ビジョン声明という形で発表をされました。「私達ロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指しています。」これが先ほど言いました奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップを簡単に言い表した私はロータリーのテーマだと思っています。これを受けてロータリーは戦略的計画というあまり好きな言葉ではありませんが、計画を立てると言っています。行動計画は4つあります。「より大きなインパクトを与えましょう」例えば公共イメージの向上なんてそうです。ロータリーはこんなしました！と新聞やテレビで言われるとインパクトになります。それに「参加をする人の基盤を広げましょう」、会員を増やしましょうと云う事です。若い人からお年寄りまで参加できます。なおかつ「参加者がロータリークラブにそのプログラムに積極的にかかわるような状況を作りましょう。」最後に「適応力を高めよう」この四つが戦略計画の中身です。2017-18年度、「変化をもたらす」がテーマでした。2018-19年、「インスピレーションになろう」訳が分かりません。いまだに分かりません。しかし考えました。変化をもたらす、何をしたらいいんだろう、そういわれたら考えました。眠りが悪いのか、中々思いつきません。そしたら年が変わってしまいました。インスピレーションになろう、ロータリー頑張れと言っているのか、そうか、こんなことも出来るのかもしれないと考えて、今年のテーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」。これはロータリーというものを自分に人びとが手をつないで行動しましょうと云う事を言っています。これは今年の2019-20年度のミッションです。変化をもたらそうと言われて考え、何を変化したらいいんだろう。インスピレーションになろう、そうか、こんなことをちょっと考えたらできるかも知れない。変化をもたらす、だったらみんなで一回やってみるか。3年掛けて私たちはうまく戦略計画に入ってしまったっています。そういうことだと私を思っています。ロータリーは中略的価値観だとか、インスピレーションとか難しい表現が好きですよ。では具体的にどうするのか、人びとが手を取り合うためには何をしたらいいのか。まずクラブのリーダーが率先してプログラムに取りかかる事です。そして怪異二次と、新しい会員の増強、出来ればローターアクターや40歳未満の若い会員、さっきも会長幹事会で、30代の会員でもいいですよと両会長から話がありました。良いと思います。ちなみに今日同行している近澤幹事は30代です。彼らが今度率先して会員増強をしていく立場です。中々若い人、入らないし、ロータリーは古臭いと言われて難しいです。するとマローニーさんは新しいクラブを作りましょう、と言います。会員8人ほど集めて規約を作ればすぐ出来ます。1回チャレンジしてみる価値はあるかもしれない。それとロータリーが関わっている若い人たち、インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブ会員間のインターアクトやローターアクトの人たちと我々ロータリアンの会員間の積極的な参加の協力、お互いに助け合う。JCや商工会議所の青年部、色々ありますが、そういった人と交流も非常に有意義だと私は思います。今後どうすればいいのか、手を結ぶところはわかった。まず今年度の最大重要課題はポリオです。ロータリーの友7月号57Pをお読みください。今年4月からポリオ撲滅とは言わず、ポリオ根絶になりました。英語表記は変わっていません。ポリオ根絶で今までロータリーが果たしてきたこと、これを説明するだけでも行動ですがいくらかけたのか、まだまだ続きます。ナイジェリアは来月26日になるとポリオ発症が無くなって3年経ちます。ポリオフリーの国になります。アフガニスタンとパキスタンで消えませんが、後少し、これがなかなか難しい。労力も入りますし、お金も入ります。先日の地区財団研修セミナーでポリオの特別講演をしていただきました。お聞きになった方はその内容を知っていると思いますので、クラブでお話ししていただければと思います。ロータリーの補助金を使って、色々な活動をしましょう。そういうプロジェクトを増やしていく事が、日頃のロータリー財団への年次基金、ポリオプラス、恒久基金への寄付の増進とかなります。世界を変える行動人、キャンペーンの為の促進と云う事で繋がっていくのではないかと私は思います。今年の4月、規定審議会がありました。今まで例会の前後14日間でメーキャップすればよかったのが、ロータリー年度内に行えばよいとなりました。出席率はどうなるのか、報告は入りません。年度末の報告だけで良くなります。出席委員会いらぬのではという物議まで出てきます。これはクラブで決めて下さい。クラブの細則に入れて下さい。どんな状況が我々の周りで起こっていきこうが、主局的価値観やビジョン声明、これを忘れなければロータリーは変わりません。より皆さんが居心地の良いロータリーを目指して、ロータリーと一緒に成長させましょう。それで

は私達だけではないです。家族や若い人たちと繋がりを大事にして、会員の基盤を強化しましょう。もう少しそこまで来ているポリオ、根絶に達せましょう。世界的にポリオは長く続いてきたので、世界中のロータリアンのポリオの寄付につかれています。これは本当にそうです。世界中のロータリアンが国際協議会で訴えました。「もう疲れたよ」「もう少しだからガンバロウ」皆で声を掛けあっている状況です。ロータリー財団が初めて寄付をしたのが1930年、これは国際障害時協会へ寄付をしました。具体的に言えば、ポリオに掛って、非常に困っている子供たちの協会にロータリー財団は1930年に寄付をしたんです。ロータリーは90年間ポリオと闘っているんです。1985年にフィリピンで600万人の子供にワクチンを投与しました。そこから始まったわけではありません。ポリオと闘っています。これを何とか終結させましょう。ロータリー財団の資金を活用して有意義な事業をしましょう。いよいよ私たちのロータリークラブはロータリーの理念に基づき、難しい長期化的価値観とかビジョン声明、優しく噛み砕いてロータリーの理念に基づいて自由に主導権を握って、ロータリー活動を続けていきたい、いよいよやってきたと私は感じています。皆さんの家族が事業所が、クラブが生き生きとロータリーを楽しまれている、この地区にあるロータリークラブの数だけ素敵な花を咲かせて、総天然色の2630地区にしたいと思います。ありがとうございました。

地区大会PR

地区大会実行委員長 西村昭彦様

郡上の例会に実は15年くらい前に来たことがあり、この会場ではありませんでしたが、皆さんとお鍋を一緒に食べるという昼食でありました。

11月16、17日と地区大会を津市で開催いたします。1日目は岐阜県揖斐川町出身の所湯沢先生に講演をいただきます。とてもタイムリーであると自負しております。話も日本文化のお話をしてくれるのではないかと期待しております。2日目は倍賞千恵子さんをお招きしてお話をさせていただきます。今回の地区大会は以前はRI会長代理夫妻と晚餐会を開催しておりましたが、今回は参加していただいた会員全員参加で大食事を開催致します。十分なことはできませんが、みんなで一緒にご飯を食べて地区大会を祝っていただければと思います。是非皆さん揃ってお越し頂き、盛り上げていただければと思いますので、よろしくお願い致します。

ニコBOX

ニコBOX委員会 旭 美香君

郡上八幡RC 大畑様 今年もよろしく。

和田良一君 第2630地区辻ガバナー様、地区代表幹事 井熊様、地区幹事 近澤様、東海北陸道グループガバナー補佐様、遠い所ようこそお出で下さいました。本日はご指導よろしくお願ひします。

同文 尾村君、藤代君、三島昭君、羽土君、原君、美谷添里恵子君、畑中君、松森君、山口君、麥島君清水君、宮川君

次回例会予定

7月27日	クラブリーダー研修会	8月7日	物故者法要と納涼例会
7月30日	女性の集い(コージュ高鷲)	8月14日	休会

出席報告

出席委員会 清水英志君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数	出席率
第1957回	35名	26名	9名		74.29%
第1958回	35名	25名	4名	6名	71.93%